

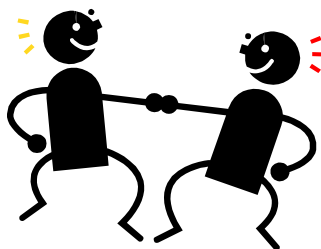
図書館だより

2013
No.171

- 藤沢市図書館では藤沢市内の大学と相互協力を行っています・・・P1
- こんな展示、知っていますか？・・・P2
- 辻堂市民図書館は開館 20 周年を迎えます・・・P3
- 湘南大庭市民図書館 小学生のためのおはなし会・・・P3
- 今、何読んでる？・・・P3
- 文部科学大臣奨励賞受賞おめでとうございます！・・・P4



ふじさわ



藤沢市図書館では 藤沢市内の大学と 相互協力を行っています



藤沢市図書館では、慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター、日本大学生物資源科学部図書館、湘南工科大学附属図書館、そして2011年10月に、多摩大学湘南キャンパス図書館とも提携を結び、現在、市内4大学の図書館と相互協力を行っています。

相互協力では、市民や学生が図書館を直接利用したり、図書館を通じてお互いの資料を貸し借りしたりすることができます。ご利用にあたっては、各図書館により取り扱いが異なりますので、藤沢市図書館または各大学図書館にお問い合わせください。藤沢市図書館ホームページからも各大学図書館の資料の所蔵状況や利用方法が確認できます。

この相互協力の一環として、2月12日から4日間、湘南工科大学の学生5人が図書館のボランティア実習に来ました。書棚の整理や予約された資料を探す作業など、図書館の基本的な仕事はもちろん、子どもたちとのふれあいや点字図書館の手伝いなど、様々なボランティア活動をしました。また、最終日には湘南工科大学の先生による、「パタパタアニメ教室」が開催されました。

イラストをパソコンに取り込んで、パラパラマンガのように動かす「パタパタアニメ教室」を開催！
自分の描いた絵が動くのを見て、子どもたちはとても嬉しそうでした。



- 【市民図書館】 総合市民図書館（Tel.43-1111）南市民図書館（Tel.27-1044）辻堂市民図書館（Tel.35-0028）
湘南大庭市民図書館（Tel.86-1666）
- 【市民図書室】 長後（Tel.43-7655） 明治（Tel.35-7095） 辻堂（Tel.35-7076） 村岡（Tel.28-6939）
片瀬（Tel.28-6935） 遠藤（Tel.88-6235） 六会（Tel.83-4686） 善行（Tel.83-4687）
藤沢（Tel.28-6895） 鵜沼（Tel.35-7096） 御所見（Tel.48-4675）

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



総合市民図書館



♪総合市民図書館では、館内の様々な場所でミニ展示を常時行っています。そのなかでも、皆さんに大変ご好評をいただいているのが、中央展示コーナーで行っているレコードジャケット展示です。

第1弾では「ジャズ」を、第2弾では「プログレッシブ・ロック」をテーマに、懐かしのレコードジャケットを展示しました。たまには、レコードから流れる音楽に耳を傾けながら、個性的なジャケットを眺め、視覚でも楽しんでみてはいかがでしょうか。展示されたレコードはすべて、南市民図書館で所蔵しています。興味をもたれた方は、是非ご利用ください。

各展示コーナーが、皆さんと資料との新しい出会いの場となりますよう、図書館スタッフ一同、お待ちしております。図書館にいらした際には、展示コーナーも覗いてみてください。

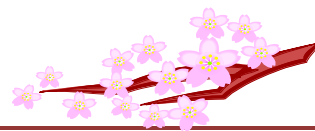
ジャズ特集



プログレッシブ・ロック特集

こんな展示、知っていますか？

南市民図書館



◆「坂本龍馬」「村上春樹と音楽」「オリンピック」・・・あのときそのとき盛り上がった話題のものってありますよね。

南市民図書館では、3年程前から、話題の本のコーナーを作りました。一番長く展示したのは「3. 11を忘れない」でした。地震、防災、原発、チェルノブイリ・・・東日本大震災とその後起きたことを見つめ、考えるための資料を展示しました。

そして、3月の話題の本は「東北」をテーマにしました。NHKの大河ドラマ「八重の桜」も好評のようです。あの地震の被害は大変恐ろしいものでした。しかし、美しい自然、歴史や人物にも興味を広げ、「東北」を知る、それも大切なことではないでしょうか。

皆さんも、図書館の資料を通じて、「東北」を感じてみてください。



辻堂市民図書館は開館20周年を 迎えます <辻堂市民図書館>



おうかえん

辻堂駅から4分、海に向かう桜花園通りに、1993年7月に誕生した、辻堂市民図書館。藤沢市の初代市長を務めた大野守衛氏の邸宅跡に建つこの図書館は、たちまち人気スポットとなりました。3年目に、隣接する茅ヶ崎の市民にも貸出ができるようになると利用は更に増え、これまでに延べ約400万人の利用者に約1000万件の貸出をしました。

これからも地域の皆さんのお役に立てるよう努力していきます。よろしくお願いします。

小学生のためのおはなし会

<湘南大庭市民図書館>

湘南大庭市民図書館では「小学生向け おはなし会へようこそ」を昨年4月より、毎月第2土曜日11:00~11:30に行っています。

ちょっと長いお話や絵本をたっぷりと楽しめます。楽しい話、不思議な話・・・わくわくドキドキ！いろんな世界を旅してみませんか？

小学生のみなさん、ぜひ参加してみてください。



今、 何読んでる？



図書館で働いている人たちが今、何をを読んでいるのか、覗いてみました。普段は手にしない本にチャレンジしてみるのも面白いかもしれません。ご紹介した3冊は図書館で所蔵しています。

『レンズが撮らえたF・ベアトの幕末』
高橋則英／小沢健志 監修 山川出版社

1863年に来日して横浜を拠点に活躍したカメラマン、F・ベアト。この本に掲載されている写真は、当時の日本人とその日常風景を外国人向けに紹介するために撮影されたもので、どれも大変興味深いものです。市内の江の島や龍口寺の写真もありますよ！

『陰陽師』

夢枕獏／著 文芸春秋

哀しく、恐ろしい場面が多いなか、清明の智と博雅の無垢の掛け合いが非常に面白く、引きつけられます。伏線と落としどころがすっきり決まり、読み手を裏切りません。どんなに怖くてドキドキしても、必ず最後には微笑んで読み終える不思議な1冊です。

『エンデュミオン・スプリング』

マシュー・スケルトン著 新潮社

近年『本』にまつわる出版物が目立ちます。こちらはそのひとつ。オックスフォードの図書館で12歳のブレイク少年は、不思議な古書を発見します。グーテンベルクの時代に端を発し、空白の本の謎を巡って展開するスリリングな冒険ファンタジーです。気軽な海外文学としてお楽しみください。

文部科学大臣奨励賞受賞おめでとうございます！



市内在住の佐藤謙介（さとう けんすけ）君が、『八郎』（斎藤隆介作 滝平二郎絵 福音館書店）を読んで書いた読書感想文で、第58回青少年読書感想文全国コンクール文部科学大臣奨励賞（小学校中学年の部）に選ばれました。（主催 公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社）

この度の受賞を「うれしかった！」と喜ぶ佐藤君は、週に1冊は本を読むという読書好き。

そんな佐藤君と『八郎』との出会いは、学校の国語の教科書で『モチモチの木』を勉強していた3年生のころ。お母さんが同じ作者の作品ということで、市民図書館から借りてきた絵本の『八郎』を読み聞かせてくれたことがきっかけと言えます。

大きな山男である八郎は、村を襲う波を鎮めるため、海に山を投げ入れる。だが、それでも押し寄せてくる波を押し返すために、八郎自身も海に沈んでしまう。『八郎』は秋田弁で書かれた絵本。秋田県出身のお母さんが読み聞かせをしてくれたことで興味を持ち、自分でも何度も読んだそうです。

その後、東日本大震災から1年経ったところに、テレビで震災の映像を見た佐藤君は、胸に残っていた『八郎』とその映像が重なり、溢れだした思いを感想文に書きました。最初は書きたいことが多すぎて、規定の枚数を超えてしまい、文章をまとめるのが大変だったと言います。

佐藤君が一番印象に残っているところは、八郎が海に向かって突き進んでいく場面。感想文には、『東日本大しんさいの時、せまってくるつ波から、人々をひなんさせるため、最後までその場にのこって波にさらわれてしまった人のことを思い出す。だれかを守るため、自分の命をささげた勇氣のある人たちがたくさんいた。まるで、八郎のようだと思った。』とその気持ちを書いています。

小さいころからお母さんに絵本の読み聞かせをしてもらっている佐藤君は、特に冒険ものの作

品が好き。今は『モモ』（ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳 岩波書店）を読んでいるところで、本を読む以外にも友達と遊んだり、バスケットボールをしたり、ロボットを作ったりと楽しい毎日を送っているとのこと。



『八郎』の絵本と読書感想文コンクールの賞状を持つ佐藤謙介君

編集後記

春めいた風が吹いてきました。何かを始めたくなる、そんな季節です。

今回の図書館だよりでは、皆さんと資料との新たな出会いを願って、様々な角度から“図書館”をご案内しました。春、皆さんも何か新しいことを、始めてみませんか。

藤沢市湘南台7-18-2
総合市民図書館